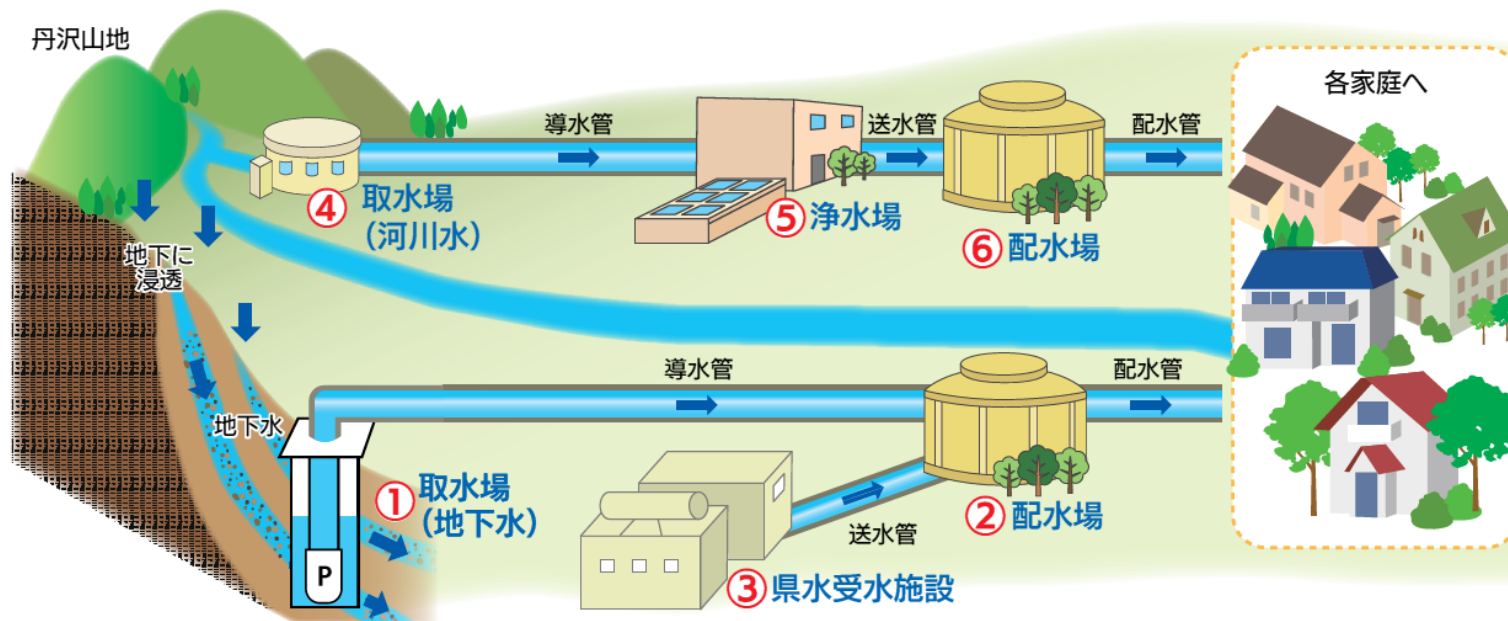


1 水道事業の概要

本市の水道は、明治23年に給水を開始した「曽屋水道」に始まり、横浜・函館とほぼ同時期に、全国的にも極めて早い時期に建設され、簡易陶管水道・自営水道としては日本初の水道であり、令和2年に創設130周年を迎えた歴史ある水道です。

本市の地下には、箱根の芦ノ湖の約4倍といわれる秦野盆地から形成される「天然の水がめ」があり、「秦野名水」といわれる良質な地下水が豊富に貯えられています。本市の水道水源の約7割を占めるこの地下水は、非常にきれいで、配水方法も地形を利用した自然流下方式を採用しているため、飲料水にするための費用が少ないのが特徴です。



2 前期計画の進捗状況

～ 水道施設整備計画 ～

本市が抱えている水道事業の課題を解決するため、「はだの上下水道ビジョン」の基本理念における基本方針と基本施策に基づき、計画期間における水道事業の施設整備計画を策定

【基本方針と基本施策】

基本方針	基本施策
① 安全でおいしい水道水の供給	①-1 水源の確保
② 適切な資産管理と施設維持の強化	②-2 効率的な施設整備
③ 災害に強い施設や体制の構築	③-1 耐震化の推進 ③-2 災害対策の充実

2 前期計画の進捗状況

【基本施策と主な取組み】

基本施策	主な取組み
①-1 水源の確保	芹沢取水場の整備
②-2 効率的な施設整備	本町第5取水場の更新 機械・電気設備等の更新 寺山配水場の更新 八幡山配水場廃止に伴う管路整備
③-1 耐震化の推進	基幹管路（導・送水管）の耐震化 配水管路の耐震化 幹線管路の耐震化 配水場の耐震化
③-2 災害対策の充実	給水車給水拠点の整備 非常用自家発電設備の整備

2 前期計画の進捗状況

水道事業の主な取組み	実績値 / 計画値（令和6年度末）	達成率
芹沢取水場の整備	監視制御盤整備など 3件 / 3件	100%
本町第5取水場の更新	井戸築造工事など 2件 / 3件	66.7%
機械・電気設備等の更新	59件 / 56件	105.4%
寺山配水場の更新	0件 / 3件	0%
八幡山配水場廃止に伴う管路整備	延長 0.0m / 1,120.0m	0%
基幹管路（導・送水管）の耐震化	延長 2,080.9m / 1,634.0m	127.4%
配水管路の耐震化	延長 3,305.7m / 3,335.0m	99.1%
幹線管路の耐震化	延長 3,254.4m / 2,865.0m	113.6%
配水場の耐震化	羽根配水場の基本設計など 2件 / 4件	50%
給水車給水拠点の整備	2施設 / 2施設	100%
非常用自家発電設備の整備	8施設 / 6施設	133.3%
【基幹管路の耐震化率】 55.9% / 51.8% （R5：全国43.3% 県内74.2%）		

3 後期計画の予定

水道事業の主な取組み	計画値（令和8年～12年度末）
上大槻送水ポンプ場の整備	1件
機械・電気設備等の更新	41施設
基幹管路（導・送水管）の耐震化	延長 2,293.0m
配水管路の耐震化	延長 5,703.0m
幹線管路の耐震化	延長 5,424.0m
【基幹管路の耐震化率】 令和12年度時点 61.9% → 71.5%	



上大槻送水ポンプ場完成予想図